

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	1032 なぜアートは必要なのか：誰がなんのために			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜4限				
教室	J301教室				
代表教員	椛田 ちひろ				
担当教員	椛田 ちひろ				
テーマと到達目標	アートとアートを取り巻く社会のケースステディを通して、アートの「必要」について自らの意見を形成することを目標とする。				
概要	資本主義社会の中でアートに求められる市場的作用、限界集落で求められる地域活性のためのアートの役割、高齢者施設で期待されるケアとしてのアートの役割、ビジネスの世界で期待されるアートの役割。古代から現代アートまで幅広い実際の事例を参照しながら、アートと社会、そして私たちとの関わりについて考察する。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	なぜアートは必要なのか：イントロダクション				対面授業
第2回	宗教とアート				対面授業
第3回	葬送のアート				対面授業
第4回	大感染症時代とアート				対面授業
第5回	国家が必要とするアート				対面授業
第6回	イデオロギーと協奏するアート				対面授業
第7回	地域の問題解決として求められるアート				対面授業
第8回	問題解決のためのアートは社会に何を与えるのか				対面授業
第9回	市場主義経済におけるアート				対面授業
第10回	アート思考と商業主義				対面授業
第11回	悲嘆とアート				対面授業
第12回	アートとアイデンティティの問題				対面授業
第13回	個人的問題とアート				対面授業
第14回	なぜアートは必要なのか：私の場合、あなたの場合（最終プレゼンテーション）				対面授業
第15回	なぜアートは必要なのか：私の場合、あなたの場合（最終プレゼンテーション）				対面授業
成績評価の基準	毎授業での小課題提出、ディスカッションへの参加、最終プレゼンテーションによって成績を算出する。2/3以上の課題提出を単位取得の条件とする。				
履修にあたっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各回授業内に時間を取り、小課題に取り組む。 ・持ち帰り課題（宿題）を出すことがある。 ・授業内でのグループディスカッション、また最終回では受講者によるプレゼンテーションを行う予定だが、受講者数によっては講義形式に変更する可能性がある。 				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					

【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	
---------------------	--

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	授業内で指示する。	参考文献(ISBN)	